

JA TOPIXオープン

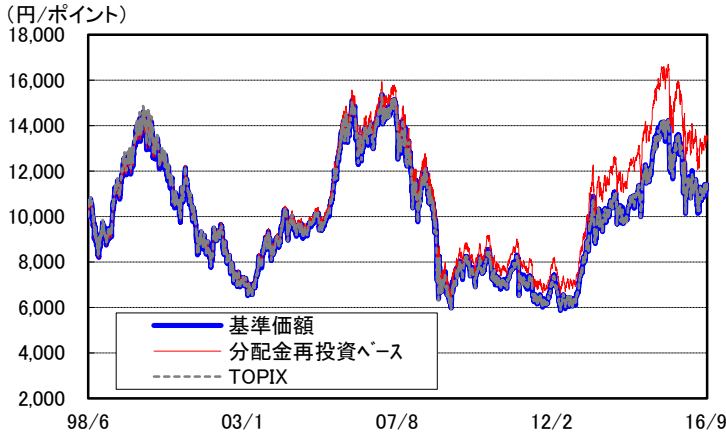
設定日:1998年6月25日 償還日:無期限 決算日:5月25日(休業日の場合は翌営業日)

追加型投信/国内/株式/インデックス型

●商品の特色

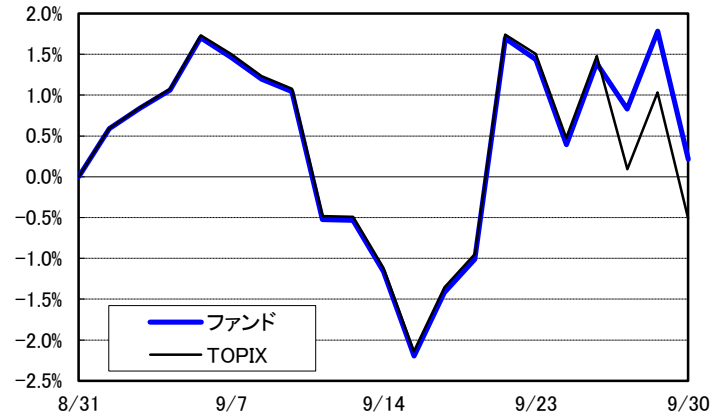
- TOPIX(東証株価指数)の動きに連動する投資成果を目指して運用します。
- 原則として東京証券取引所第一部上場銘柄の中からマルチファクターモデルにより銘柄選定を行い、300銘柄以上に分散投資を行います。
- 株式の実質組入比率は高位を保ちますので、基準価額は大きく変動することがあります。
- 運用の効率化を図るため、株価指数先物取引等を利用する場合があります。

●基準価額の設定来推移



※1 分配金再投資ベースは分配金(課税前)を再投資したものと計算しており、分配金があった場合は実際の基準価額とは異なります。
また、実際のファンドにおいては、課税の条件によってお客様ごとに値は異なります。
※2 TOPIXの設定来推移は、設定日を10,000として指数化したものです。
※3 上記のグラフは過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

●当月のパフォーマンス推移



●設定来の運用実績

	ファンド騰落率 (分配金再投資) (1) (%)	TOPIX騰落率 (2) (%)	差異 (1)-(2) (%)
過去1ヵ月	0.21	-0.51	0.72
過去3ヵ月	6.93	6.18	0.75
過去6ヵ月	-1.04	-1.81	0.77
過去1年	-4.81	-6.26	1.45
過去3年	15.58	10.78	4.81
設定日	33.52	12.01	21.51

※1 ファンド騰落率(分配金再投資)は、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金(課税前)を再投資した場合の騰落率です。
また、実際のファンドにおいては、課税の条件によってお客様ごとに騰落率は異なります。
※2 ファンド騰落率は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

●基準価額と純資産総額

年月日	基準価額 (円)	TOPIX (ポイント)	純資産総額 (百万円)
2016/09/30	11,225	1,322.78	42,831
1998/06/25 (設定日)	10,000	1,180.93	5,039

※1 基準価額は信託報酬等控除後で算出されます。
※2 設定日の基準価額は設定当初の投資元本であり、設定日のTOPIX指数は設定日前営業日の終値です。

●直近6期の分配実績

決算年月日	分配金 (課税前) (円)
2016/05/25	160
2015/05/25	205
2014/05/26	140
2013/05/27	115
2012/05/25	125
2011/05/25	115
設定来合計	1,665

※1万口当たりの実績です。

●信託財産の構成

ファンド	比率(%)
国内株式	99.88
現物	96.64
先物	3.24
短期資産等	0.12
合計	100.00

※1 比率は純資産総額対比です。
※2 短期資産等には、コール、CD、CP、現先、未収金、未払金等が含まれます。



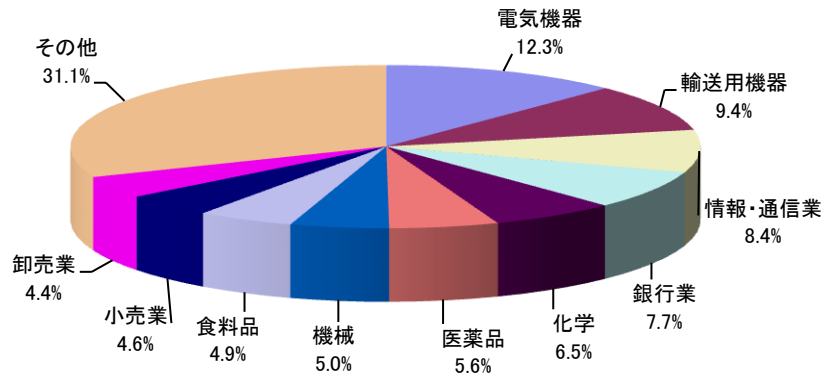
JA TOPIXオープン

追加型投信/国内/株式/インデックス型

●業種別組入比率

業種	ファンド	TOPIX	差
水産・農林業	0.13%	0.11%	0.02%
鉱業	0.31%	0.32%	-0.01%
建設業	3.22%	3.11%	0.11%
食料品	4.94%	4.97%	-0.04%
繊維製品	0.82%	0.76%	0.06%
パルプ・紙	0.26%	0.25%	0.01%
化学	6.45%	6.44%	0.01%
医薬品	5.59%	5.50%	0.09%
石油・石炭製品	0.48%	0.49%	-0.01%
ゴム製品	0.90%	0.91%	-0.01%
ガラス・土石製品	0.92%	0.90%	0.02%
鉄鋼	1.26%	1.20%	0.06%
非鉄金属	0.93%	0.90%	0.03%
金属製品	0.66%	0.67%	0.00%
機械	5.04%	5.00%	0.04%
電気機器	12.29%	12.20%	0.09%
輸送用機器	9.41%	9.38%	0.03%
精密機器	1.48%	1.51%	-0.03%
その他製品	2.03%	1.97%	0.05%
電気・ガス業	1.90%	1.88%	0.02%
陸運業	4.31%	4.28%	0.03%
海運業	0.22%	0.22%	0.00%
空運業	0.55%	0.55%	0.00%
倉庫・運輸関連業	0.20%	0.20%	0.00%
情報・通信業	8.43%	8.51%	-0.08%
卸売業	4.40%	4.40%	0.00%
小売業	4.64%	4.90%	-0.26%
銀行業	7.68%	7.51%	0.17%
証券・商品先物取引業	0.96%	0.97%	-0.01%
保険業	2.31%	2.31%	0.00%
その他金融業	1.28%	1.28%	0.01%
不動産業	2.38%	2.50%	-0.12%
サービス業	3.61%	3.91%	-0.30%
合計	100.00%	100.00%	-

●ファンドの組入業種上位(10業種)



※1 業種分類は東証33分類に基づいています。
 ※2 比率は国内株式現物対比です。

●主な売買銘柄

※平均単価＝金額÷株数

	買付				売付			
	銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
		(株)	(千円)			(株)	(千円)	
1					森永製菓	25,000	24,274	971
2					デンソー	5,400	21,670	4,013
3					日本合成化学工業	7,000	6,370	910
4					富士重工業	1,400	5,429	3,878
5	9月中の買付はありませんでした				鬼怒川ゴム工業	6,000	4,680	780
6					東京瓦斯	10,000	4,678	468
7					HOYA	1,000	4,098	4,098
8					味の素	1,100	2,513	2,284
9					ユニ・ファミリマートホールディングス	60	413	6,891
10								
11								
12								
13								
14								
15								

JA TOPIXオープン

追加型投信/国内/株式/インデックス型

<運用担当者のコメント>

●市場動向と運用状況

●市場動向

TOPIXは、前月比0.51%のマイナスとなりました。前半は米国追加利上げ観測の強まりや、日銀の金融政策決定会合における総括的な検証を控え現行の枠組みが変更されることへの警戒感などから下落しました。後半は日銀の長短金利操作付き量的・質的金融緩和導入決定や米連邦公開市場委員会(FOMC)における金融政策の現状維持を受けて上昇しましたが、月末にかけてはドイツ大手銀行の経営不安が報道されたことなどから上値が重い展開となり、月末のTOPIXは1,322.78ポイントとなりました。

●運用状況

このような環境下、当ファンドはTOPIXの動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。

※運用担当者のコメントは9月末時点のものです。また、将来の市況環境の変動、正確性等を保証するものではありません。

●ファンドの組入上位20銘柄

	銘柄名	業種	比率(%)
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.78
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.05
3	ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.87
4	日本電信電話	情報・通信業	1.81
5	KDDI	情報・通信業	1.56
6	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.37
7	本田技研工業	輸送用機器	1.33
8	日本たばこ産業	食料品	1.31
9	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.22
10	ソニー	電気機器	1.19
11	武田薬品工業	医薬品	1.03
12	セブン&アイ・ホールディングス	小売業	1.01
13	NTTドコモ	情報・通信業	0.97
14	アステラス製薬	医薬品	0.92
15	ファナック	電気機器	0.88
16	三菱商事	卸売業	0.87
17	キーエンス	電気機器	0.85
18	東日本旅客鉄道	陸運業	0.84
19	任天堂	その他製品	0.84
20	キヤノン	電気機器	0.81

組入銘柄数: 1,323銘柄

※ 比率は国内株式現物対比です。

●ベンチマークの組入上位20銘柄

	銘柄名	業種	比率(%)
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.76
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.04
3	ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.86
4	日本電信電話	情報・通信業	1.80
5	KDDI	情報・通信業	1.55
6	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.37
7	本田技研工業	輸送用機器	1.33
8	日本たばこ産業	食料品	1.31
9	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.22
10	ソニー	電気機器	1.19
11	武田薬品工業	医薬品	1.03
12	セブン&アイ・ホールディングス	小売業	1.00
13	NTTドコモ	情報・通信業	0.97
14	アステラス製薬	医薬品	0.91
15	ファナック	電気機器	0.88
16	三菱商事	卸売業	0.86
17	キーエンス	電気機器	0.85
18	東日本旅客鉄道	陸運業	0.84
19	任天堂	その他製品	0.84
20	キヤノン	電気機器	0.80



○お申込みメモ

- 購入 いつでもご購入いただけます。
- 購入単位 販売会社が定める単位
- 購入価額 購入申込日の基準価額
- 購入時手数料 購入申込日の基準価額に1.62%(税抜1.50%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

- 信託設定日 1998年6月25日
- 信託期間 無期限
- 信託報酬 純資産総額に対して年0.594%(税抜0.55%)
有価証券の貸付による収益に対して48.60%(税抜45%)以内
- 決算日 毎年5月25日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 利子・配当収益を中心に委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。
分配金は、原則として決算日から起算して5営業日目までに支払いを開始します。
「分配金再投資(累積投資)コース」の場合は、収益分配金は税金を差し引いた後、自動的に無手数料で再投資されます。

- 換金 いつでも解約請求によってご換金いただけます。
- 換金単位 1口単位
- 換金価額 換金申込日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- 信託財産留保額 換金申込日の基準価額に0.30%を乗じた額
- 換金代金の支払い 換金代金は原則として換金申込日から起算して5営業日目から支払いを行います。

- 税金 <個人のお客様の場合>
 - ・収益分配時の普通分配金については、配当所得として取り扱われ、課税されます。
 - ・換金時ならびに償還により交付を受ける金銭等は、譲渡所得とみなし、譲渡益に対し課税されます。
 <法人のお客様の場合>
 - ・収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の個別元本超過額に対し課税されます。
 ※ 税制が改正された場合等には、上記の内容が変更となることがあります。詳しくは、販売会社、税務署などへお問い合わせください。

金融商品取引所や外国金融商品市場における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときには、ご購入申込みもしくはご換金申込みの受け付けを中止すること、およびすでに受け付けたご購入申込みもしくはご換金申込みを取り消す場合があります。

○委託会社、その他の関係法人

- ◆委託会社: 農林中金全共連アセットマネジメント株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第372号
一般社団法人 投資信託協会会員/一般社団法人 日本投資顧問業協会会員)
信託財産の運用指図、目論見書および運用報告書の作成等を行います。
- ◆受託会社: 農中信託銀行株式会社(再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
追加信託に係る振替機関への通知等、信託財産の保管・管理・計算等を行います。
- ◆販売会社: 以下をご覧ください。
ファンドの募集の取扱い・販売、目論見書・運用報告書の交付、一部解約の請求の受付、収益分配金、償還金および一部解約金の支払い等を行います。

販売会社等につきましては、以下の先までお問い合わせください。
◆農林中金全共連アセットマネジメント株式会社
ホームページ: <http://www.ja-asset.co.jp>
フリーダイヤル: 0120-439-244(受付時間: 営業日の午前9時~午後5時)

お申込、投資信託説明書(交付目論見書)のご提供は



○主なリスクと手数料

下記の事項は、この投資信託(以下「当ファンド」という。)をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書(交付目論見書)の内容をよくお読みください。

＜当ファンドに係るリスクについて＞

当ファンドは、主に東京証券取引所第一部に上場されている株式を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因は、主に「株価変動リスク」です。

「株価変動リスク」にかかる指標は、東証株価指数(TOPIX)です。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

＜当ファンドに係る手数料等について＞

◆申込手数料(1口当たり)・・・申込時にご負担いただくものです。

お申込日の基準価額に1.62%(税抜1.50%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

※詳しくは販売会社もしくは申込手数料を記載した書面にてご確認ください。

◆換金(解約)手数料・・・換金時にご負担いただくものです。

ありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものであり、以下の合計額とします。

(1)ファンドの純資産総額に0.594%(税抜0.55%)の率を乗じて得た額。

(2)ファンドの保有する有価証券の貸付を行った場合は、その貸付による収益に48.60%(税抜45%)以内の率を乗じて得た額。

◆信託財産留保額(1口当たり)・・・換金時にご負担いただくものです。

換金申込受付日の基準価額に0.30%の率を乗じて得た額とします。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.00324%(税抜年0.003%)の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用(*)

有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引、オプション取引等に要する費用、外国における資産の保管時に要する費用、信託事務の処理に要する諸費用、信託財産に関する租税、受託者の立て替えた立替金の利息、資金借り入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「費用と税金」をご覧ください。

(*)「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

○留意事項

■ 当資料は、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社(以下、「当社」といいます。)が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

■ 当資料は当社が信頼できると判断したデータ等により作成しましたが、その正確性、完全性等を保証するものではなく、また事前の通知なしに内容を変更する場合があります。市場環境等の見直しにつきましても、その確実性を保証するものではございません。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。

■ 当ファンドは、株式などの値動きの生じる証券に投資しますので、基準価額は日々変動します。したがって、元金および収益分配が保証されるものではなく、投資元本を割り込むことがあります。また、運用の成果は運用の実績により変動します。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に負っていただくこととなります。

■ 投資信託は預貯金や保険商品とは異なり、預金(貯金)保険機構、保険契約者保護機構の保護対象ではありません。投資信託のお申込みに関しては、クーリングオフの適用はありません。

■ ご購入の際は、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受取りいただき、詳細をご確認のうえ、ご自身でご判断いただきますようお願いいたします。

■ 東証株価指数(TOPIX)に関する著作権、知的財産、その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。また、東京証券取引所は同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。